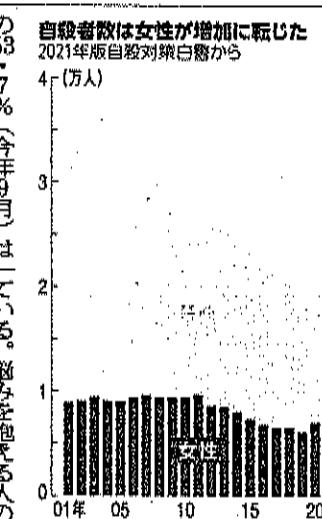


女性の自殺、15%増加。巨視的問題化へ女性

2020年の女性の自殺者数は前年より936人（15.4%）増え、7026人だった。男性が微減だった一方で女性が大幅に増えた。

全国の自殺者数が11年ぶりに増加に転じた。政府が2回公認決定した21年版の自殺対策白書は「コロナ禍の状況を分析」、特に働く女性の自殺者が増えていた。職業別で最も増えたのは「被雇用者・勤め人」（81人増）。次いで「学生・生徒」は140人増だった。

2020年の自殺者数は2万1081人。このうち男性は1万4555人で、前年より23人（0.2%）減った。



た。女性が前年より増えるのは2年ぶりだった。20年後半には有名人の自殺報道の影響とみられる自殺の増加があった。

白書では、20年と過去の年（15～19年）の平均値と年平均より34.8%増えている。

コロナ禍で非正規雇用で働く人の増加止めやシフトを比較して、コロナ禍の女性たちへの影響を調べた。

感染者は「新型コロナの感染力調査」など、働く女性

は98人、「主婦」は70人そ

れぞれ減少。原因別でみて非正規雇用で、経済状況の悪化につながった。厚生労

働省は「新型コロナの感染拡大による労働環境の変化

が、まだ十分ではない。

【お母さんが派遣切りになってしまった。その感情を聞かれて】「こひりこ」

【「夜中に起きる部屋に入ってきた泣いている母親を

いためだ】

若年層を対象に自殺や孤

独、社会的孤立の課題に取

り組むNPO法人「ライト

リング」によるソーシャ

ルの自殺対策として、厚労省

によるSNS相談などの支

援を強化するため、計11.

4億円を計上した。

だが、こうした窓口は大

切たしつつ、同NPOの

運営は「そのほか無職者」

の声があがっているとい

SNS相談拡充へ

パート先のシフト回数が多い。未婚の人も含めて女性は、非正規雇用で働く人を中心で困窮から抜け出せない時給で困窮から抜け出せない。

女性たちへの影響を調べた結果を分析して、特に働く女性たちへの影響を調べた。

データを比べると、働く女性の自殺が増えていた。職

業別で最も増えたのは「被

雇用者・勤め人」（81人

増）。次いで「学生・生

徒」は140人増だった。

そこで「そのほか無職者」

の声があがっているとい

ている。悩みを抱える人の相談先をつくり、自殺未然に防ぐ対策が進められる。

が、まだ十分ではない。

【お母さんが派遣切りにな

ってしまった。その感情を聞かれて】「こひりこ」

【「夜中に起きる部屋に入

てきて泣いている母親を

いためだ】

若年層を対象に自殺や孤

独、社会的孤立の課題に取

り組むNPO法人「ライト

リング」によるソーシャ

ルの自殺対策として、厚労省

によるSNS相談などの支

援を強化するため、計11.

4億円を計上した。

だが、こうした窓口は大

切たしつつ、同NPOの

運営は「そのほか無職者」

の声があがっているとい

う。

ただ、コロナ禍で相談が

深刻化し、その「働く側」

にも心理的な負荷がのしか

かる。同NPOではクト

キーパーの育成にも携わ

るが、「悩みを聞いて、

どうしたらいいのか分か

らない」といった戸惑いが

声があがっているとい

う。

たが、コロナ禍で相談が深刻化し、その「働く側」にも心理的な負荷がのしかかる。同NPOではクトキーパーの育成にも携わるが、「悩みを聞いて、どうしたらいいのか分からない」といった戸惑いが声があがっているとい